

第13回 合志市人権フェスティバル



ちひろさんの優しい語りと歌声が会場に響き渡りました

「みんなで育てよう 人のぬくもりあふれる合志市」をテーマに、平成30年12月1日(土)午前9時から、ヴィーブル メインアリーナで開催しました。(参加者約800名)

オープニングでは「くまモン隊」が登場し、会場が和やかな雰囲気になりました。開会行事後は、栄保育園の園児のみなさんによる元気いっぱいの和太鼓の演奏(「西郷どん～メインテーマ～」など)がありました。続いて西合志中学校1年生のみなさんにより、6月に水俣市を訪ねて学習をしたことや水俣病の悲劇を二度とくり返さないという思いを込めた創作劇「不知火よ再び」が披露されました。

その後、童謡詩人金子みすゞの詩に自ら作曲した歌を中心に全国各地で公演活動を行っている、ちひろさんの歌と語りによる心温まる講演がありました。

最後に人権フェスティバル宣言文を参加者全員で採択しました。今回の人権フェスティバルをとおして、部落差別をはじめ、様々な差別をなくすために、自分の立場で何ができるのかを考えるよいきっかけとなったのではないのでしょうか。



一生懸命に太鼓をたたく栄保育園の園児たち



西合志中学校1年生によるミナマタ学習の創作劇「不知火よ再び」



最後は参加者全員で「上を向いて歩こう」を歌いました



今回は市内の3つの支援学校の生徒のみなさんの作品なども展示しました



市内の幼稚園・保育園、小中学校、市民のみなさんの人権標語やポスターを展示しました



自然と笑顔があふれるまち。それは、一人ひとりの人権が大切にされ、明るく住みよいまちができたときです。



「人権フォーラム 2019in 合志市」で上演された、「HIV人権ネットワーク沖縄」のみなさんによる演劇「光の扉を開けて」のラストシーン

CONTENTS

ハンセン病問題啓発事業「人権フォーラム2019in合志市」を開催しました……………2～3
第13回市人権フェスティバルを開催しました……………4

Vol.13

発行日2019(平成31)年3月